

福島県の少子化対策

◆福島県の少子化の現状

令和3年 出生数 **10,649人** (20年間でほぼ半減)
 合計特殊出生率 **1.36**
 ⇒働き手の減少、地域活力の減衰

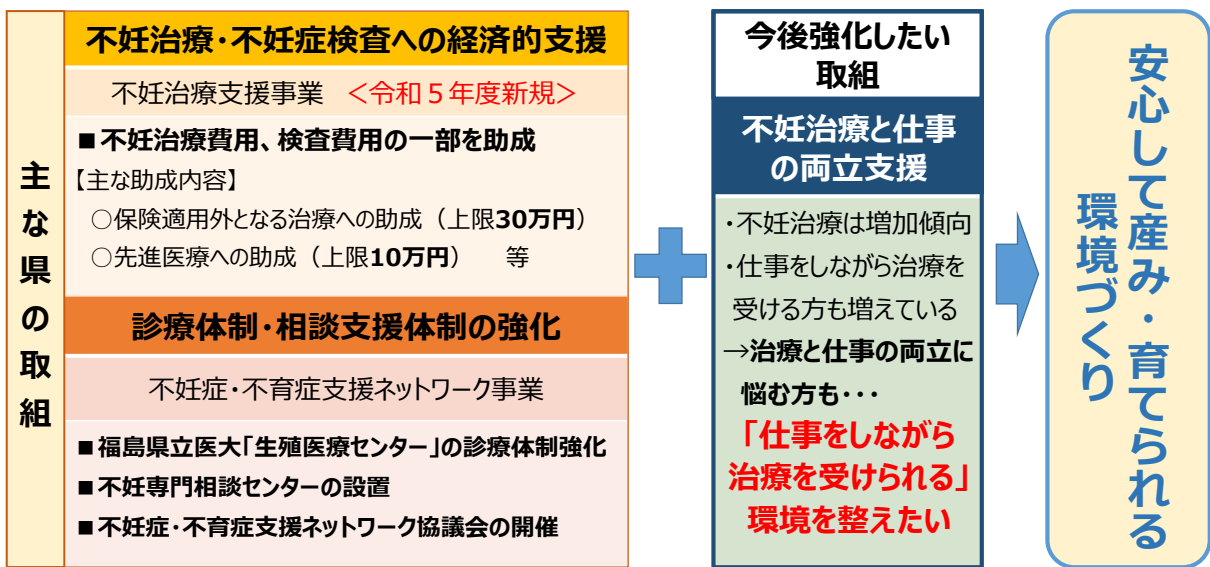
◆背景

多様な価値観、生き方の広まり (未婚化、晩婚化等)

一人一人の希望をかなえるための支援が必要

⇒ **こどもを希望する (産みたい) 方への支援を強化**

こどもを希望する (産みたい) 方への支援



不妊治療と仕事の両立の現状

◆不妊治療で生まれてくる子どもの数

2020年 全国の出生児（840,835人）のうち7.2%（60,381人）
約13.9人に1人が生殖補助医療によって生まれている

◆不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦の割合

実際に不妊の検査や治療を受けたことがある（または現在受けている）
夫婦は22.7%で、**夫婦全体の4.4組に1組の割合**となる

◆不妊治療を受けながら働く人の声

- ・急に入る診療はスケジュールを合わせるのが難しい
- ・休みをとることで迷惑をかけてしまうという心苦しさがあった
- ・周りに治療のことを言えていないので、隠しながら休みをとるのが大変

不妊治療をしている（または予定している）労働者の中で
「**仕事との両立が出来なかった（または両立できない）**」とした人は**35%**

「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」（2023年3月厚生労働省作成）より

ご提案内容

◆経営者・人事担当者向けセミナーの開催

1 対象者

企業の**経営者、人事担当者**

2 内容（計45分）

（1）不妊治療の基礎知識（15分）

主な治療方法、治療の流れ 等

（2）不妊治療と仕事の両立の現状（15分）

厚生労働省、県の調査結果の説明

（3）両立支援のためのポイント（15分）

両立支援のための休暇制度、先進事例の紹介 等

<企業におけるメリット>

ハラスメントの防止、社員のモチベーション向上 等

【問い合わせ先】

福島県子ども未来局子育て支援課 024-521-8205